

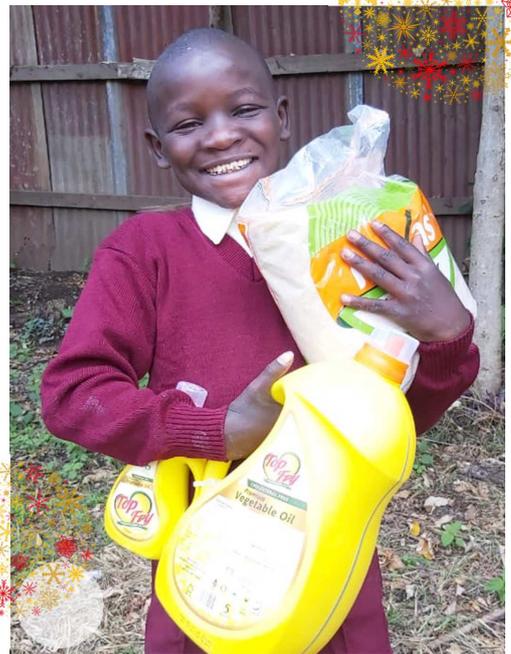
ケニアのクリスマス！

あなたの贈り物が、大きな愛を子どもたちに伝えます

ケニアでは、公立の小学校の中でメトロの教会学校を行っています。そのため、学校が長期休暇に入る前に個別のクリスマスプレゼントを子どもたちに渡しています。子どもの数は驚くほど多いので、早く準備を始めなくては、学期中に子どもたちにプレゼントを渡すことができません。

スラムでの貧しい生活を強いられる子どもたちにとって、自分宛てのプレゼントを受け取る経験などほとんどありません。プレゼントを贈ることは、ただ物をプレゼントするということではなく、「あなたのことを日本から思っているよ」「あなたは私にとって大切な存在だよ」という気持ちを子どもに直接伝える手立てとなります。

ケニアのクリスマスプレゼントお申込みの締切りは、**9月9日(木)**です。詳細は同封のお申込書をご確認ください。ケニアの現地スタッフも、準備で忙しい時期を迎えます。スタッフの働きのためにもお祈りください。



<https://metroworldchild.jp/ke-christmas/>

メトロ プレゼントを贈る

検索

ギフト締切：9/9



クリスマスカード受付開始！

カード締切：9/17

時期的にクリスマスカードは手に入りにくいと思いますが、普通のカードや手作りカードでも結構です。英語か日本語でサポートしているケニアのお子さんにメッセージを書き、日本事務所宛にお送りください。(送り先は最終ページでご確認ください。)ヘアアクセサリやシールなど、定型サイズの封筒(縦横 23,5cm x 12cm x 厚さ 1cm 手紙を含めて重さ 25g 以内)で収まる小物のプレゼントは同封していただけます。

食料品 支援募集！

随時支援を受付中！

どなたでもお申込み可能です。

8月の引き落とし日！

今月引き落とし日は8月16日(月)です。
残高のご確認をお願いいたします。



今月号の目次

- P2…スタッフがみるスラム ケニア
- P3～4…スタッフがみるスラム フィリピン
- P4…子どもたちの必要に合わせて
／家庭訪問は伝道のチャンス
- P5…お祈りください！／偽者にご用心！
- P6…日本事務所からのお知らせ

スタッフが見るスラム

先月に続き、貧困地域であるスラムについてお話しします。今回は、ケニアとフィリピンについてです。

ケニアスタッフ:ジェニン・ステラトス

《ケニア》

ある時、メトロのスポンサー支援を受けている女の子が、定期的に地元の養豚場に通っていることを知りました。豚の餌の野菜くずを運ぶ際に、地面に落ちてしまったものを拾い集めていたのです。それでも食料が足らず、家族が飢えてしまう前に養豚農家に、豚の餌を少し分けてもらえないか、頼もうと考えていました。

メトロが支援しているスラム街に住む子どもの多くは、家計の足しになるように、そしてわずかな食べ物を手に入れるために、薪拾いなど、何とかして小さな仕事を見つけています。

また、採石場の近くのスラムに住んでいる人は、子どもも老人も関係なく、採石場で1日中働きます。しかし、1日かかって石を小さく割って一輪車やバケツ一杯にしても、賃金はごくわずかです。8人の子どもを育てている知り合いのおばあさんは、1日に1台の一輪車を石でいっぱいにして、手にするのは、わずか0.5ドル(50セント)です。それが、おばあさんと8人の子どもたちの1日分の食費のすべてなのです。通常の4人家族だと、1ヶ月の食費に最低でも30ドルは必要です。このおばあさんの家庭で得られる金額は、どんなに一生



豚の餌



薪を集める少年



採石場で働く女性

懸命働いても一般的な家庭の食費の4分の1の程度です。

メトロが活動しているナクル近郊の人々は、極めて貧しく、小屋のようなスラム街の家を買う余裕さえありません。やむなく、採石場の近くにある洞窟に住んでいる人たちもいます。夜になると、ハイエナが洞窟の中に入らないように、ワイヤーと枯れ枝で枝洞窟の入り口を隠しています。

通常、スラム街の建物は、木や鉄板、泥といった単純な材料で作られているものがほとんどです。そして、沢山の人が、小さな家に一緒に住んでいます。水道やトイレ、電気や公共交通機関といった基本的な施設も乏しく、全くない所もあります。衛生状態は非常に悪く、伝染病などがすぐに蔓延しますし、犯罪率が高くて暴力事件やギャングも多いのです。

スラム街に住む人々には仕事がなく、ほとんどが貧しい家庭の出身者です。毎日愛する家族や自分自身が生き延びることに必死で、単純な仕事(洗濯、農作業、果物や野菜の販売など)を探して街を練り歩いています。家族のために食料や生活必需品を手に入れるため、日銭を稼ぎ、スラム街に住む家族の多くが、その日暮らしの生活をしています。

では、どうすればそのようなスラム街から出ていくことができるのでしょうか？ それは非常に困難で、ほとんどの人は自力でスラム街を出ていくことなどできません。実際、スラム街の住人の多くが、代々スラム街に住んでいます。ごく少数の親たちは、スラム以外の場所に非常に安い金額で家を借りることができるかもしれませんが、しかし、スラムから出て行くためだけに、家族との時間を犠牲にして働かなくてはならなくなります。

また、経済的に余裕のある親戚がいて、スラム街から出ていくための援助をしてもらえることもあるかもしれませんが、あるいは親切な人が、気にかけている家族をスラム街から連れ出してくれ、もっとましな家を探し、親たちに仕事を見つけてくれるかもしれません。でも、そのような人はほとんどいないのが現実です。



人が住む洞窟

フィリピン編へ▶

フィリピンスタッフ:ハンナ・ロビンス

《フィリピン》

フィリピンのスラムは、何世代も続いています。それは、絶望の淵から生まれたのです。生きる手立てやお金もない人々は、手近な材料（プラスチックの防水シート、木片など）をできる限り集めて、雨風をしのぐ小屋を建て始めました。ゴミ捨て場を漁り、リサイクル可能なものを探して売ることです少しのお金を稼ぐことができます。そうやって、「家」をできる限り自力で修復していきます。

しかし現実には、(不法占拠地域と呼ばれる)スラム街に住む人々は、ほとんど権利を持っていません。その土地は彼らの所有ではないので、いつでも追い出される可能性があります。スラム街の住人を保護する法律はあるものの、当てにはなりません。スラム街となっている土地の所有者である政府は、彼らに住む場所を提供することになってはいますが、それによって彼らに住む場所が確実に保証されているわけではありません。



スラム街住人の一部はフィリピンの首都であるマニラから来ていますが、ほとんどは、マニラ以外の州から来た人たちです。人々は(何世代も前の人たちも含みます)、マニラにはもっと良い仕事があると思ひ、マニラに来るための費用を得るために、持ち物を売り払ってやって来ました。

しかし、いざマニラに到着しても、良い仕事に就くことができた人は、ほとんどいませんでした。多くの人は仕事を得ることもできず、ゴミ捨て場を漁ってリサイクル業者に買ってもらえそうなものを探さずしてしかできませんでした。ゴミを漁っても、かろうじてその日に食べるものを買う程の金額にしかならず、自分の出身地に戻るためのお金など、とうてい稼ぐことができませんでした。

そして、マニラのスラム街で生活する住人同士で結婚をしたり同居をしたりして、子どもを授かっていきます。そのため、故郷に帰ることはますます難しくなっています。なぜなら、生まれ故郷に戻っても、そこには何もありませんし、頼る人もいないので、「戻りたくない」と思うからです。マニラに移

ってきた人で、故郷に土地を所有していた人はほとんどおらず、故郷でも雇われの身でした。作物が実る時期は収穫手として雇われて作物や賃金を得ることができましたが、収穫の時期以外になると、生きていくのはやっとのこと。少なくとも、マニラに住んでいけばゴミを漁ることができ、わずかではあっても毎日食べていくためのお金を得ることができます。

悲しいことに、人々がマニラでスラム街の住人となる別の理由に人身売買があります。

人身売買の組織は、仕事があると言って人々にマニラへ行くための借金をさせます。彼らがマニラに着いた時には、当初紹介された仕事などではなく、売春や、それに似たような仕事をさせられます。そこからなんとか逃げ出したとしても、スラムで生活する他なく、逃げ出さなければ売春をするしかありません。これは、本当に厳しい現実です。

何世代にもわたり、スラムに住む住人たちはそのようにして生きてきました。そして一度スラム街で世代交代が起こると、変化を起こすことはさらに困難になります。



例えば、あなたがフィリピンのスラム街である墓地で生まれたとしましょう。あなたの母親は花を売って時々お金を稼ぎ、父親はゴミ置き場からプラスチックや金属の破片を集めて生計を立てています。両親の1日の稼ぎを合わせると、3ドル程度です。そして、あなたには3人の兄弟がいます。学校の授業料は無料ですが、制服や学用品は無料ではありません。そしてもちろん、家族6人が毎日食べていくためのお金が必要です。 **次ページにつづく▶**

家族が食べる1日分のお米1kgが約1ドル、3食分のイワシの缶詰に約2ドルかかります。そうすると、毎日の稼ぎの3ドルを、全て食べるために使い切ることになります。貯めておくお金などありません。翌日には、同じことの繰り返しです。

たとえ両親が学校教育の価値を分かっていたとしても（たいてい、スラム街のほとんどの親は幼少期に教育を受けていないため学校教育の価値が分かりません）、家族を食べさせるか、学校に通わせるかの選択を迫られます。選択の余地などありません。また、スラム街で蔓延する寄生虫が子どもの胃に感染し、すぐに病院に行く必要があっても、親はこの2つの選択を迫られます。

スラム街に住む子どもが高校を卒業することなど、ほとんど奇跡だといふことがわかりでしょう。

スラム街の報告は、9月号に続きます



子どもたちの必要に合わせて

サポートしていただいているお子さんに誕生日やクリスマスのプレゼントをお申込みいただき感謝申し上げます。スポンサーの方からの愛のこもったメッセージと共に、現地スタッフが子どもたちに届けております。

現地スタッフは、毎週の家庭訪問や子どもたちとの交わりを通して、その子がどのような家庭環境で育ち、今どのような支援が必要かなどを確認しています。そしても現地スタッフが、「この子には、他のものが必要」と判断した場合、お申込みいただいた金額内で、プレゼントの内容を変更させていただく場合がございます。

特に、今はコロナウイルスの影響で子どもの保護者たちは仕事を得ることが大変難しくなっております。食料品が必要な家庭が多くなっていますので、プレゼント内容が変更される場合もあります。どうぞご了承ください。



こちらから
プレゼントの
お申込みが
できます



家庭訪問は伝道のチャンス

プレゼントを届けることは、子どもやその保護者たちがメトロのスタッフに心を開いてくれる絶好のチャンスです。スタッフが、直接子どもの元にプレゼントを届けますので、子どもと個別に話をする時間を持ち、「あなたは愛されている存在だ」と伝えることができますし、イエス様とスポンサーの愛に感謝して共に祈ることができます。

また、始めはメトロに好意を持っていない保護者も、プレゼントによって好感を持ってくれます。メトロスタッフと保護者の関係が良くなれば、子どもがメトロの道端教会学校に参加することに前向きになり、一緒に福音を聞くチャンスも出てきます。

また、プレゼントの回数が増えれば、伝道のチャンスも増えますので、プレゼントの総額が1万円を大きく超えるような場合は、数回に分けてプレゼントを渡す場合がございます。

お祈りください！

バーチャルキャンプ開催 8/11～8/20

アメリカのバーチャルキャンプは、8月に開催されます！ キャンプに参加できる子どもたちは事前に「キャンプ体験ボックス」を受け取り、グループごとに時期をずらして、配信される3日間のバーチャルキャンプに、自宅からタブレットで参加します。

今年のキャンプのテーマは「トレジャーアイランド」！ キャンプボックスに入っているセットで工作をしたり、スキットを見たり、チームでゲームをしたり、スナックを食べたりと、楽しい内容が盛りだくさんです！

他にも、メトロのキャンプの大切な時間とも言える小グループでカウンセラーたちと過ごす時間もあります。

3日間のキャンプ期間中には、スタッフたちと賛美をしたり、聖書の話の聞いたりするチャペルタイムが毎日組み込まれています。その中で子どもたちは、分かりやすく聖書について学びます。

子どもたちの心が開かれて福音が届くよう、ぜひ共に祈りください！



写真は、昨年実施されたバーチャルキャンプです

キャンプ体験ボックス



CG 合成で楽しむダンスの時間



偽者にご用心！



メトロ・ワールド・チャイルドの創業者である、ビル・ウィルソン師になりすました偽の SNS アカウントが、常に発生していますのでご注意ください。

偽アカウントは、ビル師の本物の Facebook ページから写真や記事をコピーして掲載しているため、偽物とは気づきません。

以下の SNS 以外は、すべて偽物とと思ってください。

ビル師は、献金を要求したり、個人的に話をすることはございません。日本事務所以外の口座への送金をしたり、個人情報を伝えたりしないでください。

メトロをサポートしてくださる皆様の安全を守るため、少しでも「怪しい」と思った場合は日本事務所までご報告ください。



ビル師の正しい Facebook はこちら⇒

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>



偽アカウント！

Pastor-Bill Wilson

The Nehemiah Boot Camp (8/24-12/19). Find out why you should be there.

❤️ Pastor Bill's only Facebook

これも、名前にハイフンを入れて本物と同じに作られています。

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 再引き落としについて！

残高不足等で引き落としができなかった場合は、次月分と合算して再引き落としさせていただいております。

再引き落とし手数料として 110 円を追加させていただきますので、ご了承ください。

確実に引き落としできるように、お手数ですが、引き落とし日前までに口座の残高をご確認くださいようお願いいたします。8月の引き落とし日は、8月16日(月)です。

再引き落としについての詳細は、1月号のレポートまたは、以下のホームページ  アドレスでご確認ください。
metroworldchild.jp/2021/information/4151/

ご意向をお知らせください！

メトロ本部では、2019年より世界中の物価の上昇に対応するために、子どものスポンサー代金をひと月5,000円に変更しております。

これまでたくさんの皆様がスポンサー代金の引き上げ了承のご連絡をくださいましたことを心から感謝申し上げます。

2019年以前にご登録をいただいた方で、もしスポンサー代金5,000円への変更をご了承くださる場合は、ぜひメールや電話、FAXにてお知らせください。

ご同意なく、自動的に引き上げはいたしませんので、大変お手数ですが、日本事務所までご意向をお知らせくださいませうお願い申し上げます。TEL:03-3561-0174 

スポンサー募集！

スポンサーのお申込みは、HPからできるようになっています。ぜひお知り合いの方にメトロをご紹介ください。


<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>

また、メトロの働きを詳しく紹介したホームページもございますので、ご活用ください。


<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>

なお、必要でしたらメトロの紹介資料をお送りいたします。日本事務所まで必要部数とお送り先をご連絡ください。

日本事務所よりごあいさつ！

本格的な夏がスタートしました。世の中の空気に流されず、積極的に生き生きとした夏の日々としてまいりましょう。

どのような状況の中にあっても、事実以上に事を悪く考えたり、否定的になって、自分で悪い状況を引き寄せてしまうことがないように注意しましょう。

私たちにできなくても、神様にできないことは何一つありません。ご自分の御子をさえ惜しまずに与えてくださった神に愛されているのですから、安心してください。

メトロの現地スタッフも、1年半にわたる厳しい状況の中でも今できることに集中し、道を開き、大きなチャンスを手にかけています。同じ神があなたと共にいてくださいます。

この働きを、変わらず支え続けてくださる皆様の上に、主イエス・キリストの圧倒的な恵みが注がれますようにと祈ります。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1
教文館 6階 TFC内
電話 03-3561-0174
FAX 089-925-1501
メール metrojapan@mission.or.jp
URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。
ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610
郵便局：記号番号 01650-3-41610
口座名義はどちらも同じ
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン